

もしものときのために

自分が望む医療やケアについて考える

医療・介護の出張講座

無料

人生の最終段階において、自分の望む医療やケアについて、考え、話し合い、共有する取組をACP (Advance Care Planning) = 「人生会議」といいます。

本講座は医師の講話やゲームなどACP = 「人生会議」をとおして、これから先の人生を自分らしく生きることの大切さを、前向きに考えることの大切さを学びます。

9月7日 木

新座市民会館会議室

新座市野火止1-1-2

時間 13:00~15:00 (受付開始12:45)

対象 市内在住の方

内容 裏面参照

定員36名

申込 先着順 事前申込み (下部参照)

新座市版エンディングノート

参加者には新座市版エンディングノートを進呈します。

受付開始日時

8月1日(火)午前10時~

申込方法

電話・窓口または電子申請でお申し込みください。

問合せ・申込先

新座市 介護保険課 介護予防係

☎ 048-424-5186 (直)



電子申請はこちら

講座の内容

① 医師による講話

埼玉県ACP普及啓発講師人材バンク登録医師

これまでの自分の人生の歩みを振り返り、これからの自分の人生をどうありたいか整理します。その上で誰にでも訪れる「人生の最終段階」について実習を通して自分の思いと向き合いながら前向きに考えます。



堀ノ内病院
堀越 洋一医師
「私の人生の最期に」
「旅立ちに備えて」

国立国際医療研究センター国際医療協力局に所属し、1994年から2013年の20年間にわたり、アジア・アフリカ・南米など30か国で、技術協力、調査・研究、人材育成などの活動に従事。2013年から堀ノ内病院地域医療センターに所属し、在宅緩和ケアを軸として、訪問医療・在宅医療に取り組んでいる。

② もしバナゲーム

進行役

デイサービス隣家

西野 裕哉氏



もしバナゲームとは...

「人生の最期にどうありたいか」
「治療は？」「場所は？」「誰と過ごしたい？」など
カードを使用しながら考えてみるゲームです。

③ 実際のエピソードの紹介 など

突然の病気、突然の事故、認知症などで自分で自分のことが決められなくなってしまうことがあります。そんな「もしものとき」や誰しもが訪れる「人生の最終段階」のために、ACPを「やっておいてよかった。」「やっておけばよかった。」などのACPにまつわるエピソードを医療・ケアの専門職が紹介します。

参加者の声



病院の先生の話聞いたことが良かった。役立ちそうなことが盛りだくさんでした。
(50代女性)



これまでの歩みを振り返り、これからの日々を大切に過ごせる指針が与えられた。
(60代女性)



実習が具体的で、本日からでも始めたいと思う。
(80代男性)



とても分かりやすく、先生の言葉は心が温かく涙があふれそうでした。
(70代女性)

